

2026年6月12日

東北・新潟7県と連携してバンコクの国際食品総合見本市 「THAIFEX2026」へ3年連続の出展

～岩手、福島、新潟の3県からも現地参加の上運営をサポート～

東北経済連合会（会長：樋口 康二郎 以下、東経連）は、東北・新潟7県との官民による広域連携の下、5月26日（火）から30日（土）にかけてタイの首都・バンコクで開催された東南アジア最大級の国際食品総合見本市「THAIFEX-Anuga Asia 2026（タイフェックス・アヌーガ アジア 2026）」（以下、THAIFEX2026）に出展しました。

3年連続となる今回も、JETRO と連携しながら、東北・新潟地域において強みのあるコメを継続出品することで、“東北・新潟県産米が日本のベストクオリティ”というイメージの訴求・定着を図り、タイをはじめとする東南アジアへの新たな販路確保・拡大を目的としました。

今年は岩手、福島、新潟の3県からも担当者に参加頂いたほか、初めての試みとしてブース誘導を目的とした動画配信及びプレゼンテーションと試食をJETRO 受付付近で実施しました。

なお、本事業は、2023年11月に各県知事等が参加し開催された第12回「わきたつ東北戦略会議」※において確認されたもので、東北・新潟の農水産物・食品の輸出拡大のため、2～3年にわたりタイ・シンガポール等にて、新たな販路拡大に向けた連携を進めていくこととしていたものです。

※…東北・新潟の各県知事や各県の国立大学学長など、産学官金トップで構成する会議体。事務局は東経連（別添）。

東経連では、東北・新潟の基幹産業である一次産業を持続可能で魅力ある産業へと発展させることを目的に、引き続き政府の「農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略」に基づき、当地域の強みであるコメをはじめ地域産品の輸出拡大に取り組んで参ります。

1. THAIFEX 2026 概要

東南アジア最大級の国際食品総合見本市で、140,000 m²の会場に世界56カ国・地域から約3,600社が出展、5日間の開催期間中、148ヶ国・地域からバイヤーを中心に約9万5千人が来場しました。またタイのアヌティン首相もJETROの設置する「ジャパンパビリオン」に来場しました。

(1) 会期：2026年5月26日（火）～5月30日（土）

①トレード・デー（事業者向け）：5月26日（火）～29日（金） 10:00～18:00

②トレード&パブリックデー（一般消費者向け）：5月30日（土） 10:00～20:00

(2) 会場：インパクト・ムアントンターニー

(99 Popular Road, Banmai Subdistrict, Pakkred District, Nonthaburi 11120, Thailand)

(3) 主催者：ケルンメッセ

(4) 2026年実績（主催者発表）：

①来場者数：94,685人（148ヶ国・地域）※一般客を除く

②出展社数：3,590社（56ヶ国・地域）

2. 出展概要

(1) ブース (JETRO が設置する「ジャパンパビリオン」内)

・品目: 東北・新潟県産米 (7 銘柄)

県名	銘柄	県名	銘柄
青森	まっしぐら	山形	つや姫
岩手	ひとめぼれ	福島	天のつぶ
宮城	ひとめぼれ	新潟	こしいぶき
秋田	あきたこまち		

・2026 年から、岩手県のみ出品銘柄を「銀河のしずく」→「ひとめぼれ」へ変更

(2) ブースにおける各県の試食配付スケジュール

日程	5/26 (火)	5/27 (水)	5/28 (木)	5/29 (金)	5/30 (土)
形式	事業者向け				一般消費者向け
10:00~ 14:00	7 県 (おにぎり)	福島 (天のつぶ)	青森 (まっしぐら)	新潟 (こしいぶき)	
14:00~ 18:00	岩手 (ひとめぼれ)	秋田 (あきたこまち)	山形 (つや姫)	宮城 (ひとめぼれ)	

・商談については上記タイムテーブルとは連動せず、常時 7 県分対応した。

(3) ブース運営内容: 試食提供、アンケート調査、商談対応

(4) 2026 年実績 (速報値につき、今後数字が前後する可能性あり)

・東北・新潟県産米 (7 銘柄) [木徳神糧との連携]

回収アンケート数: 541 件 (昨年 550 件)

商談件数: 120 件 (昨年 122 件)

商談対象地域: タイ国内、アジア諸国、EU、米国、中東など

・昨年 2025 年 11 月時点での過去 2 年の成約件数は 31 件

なお、THAIFEX2026 へのブース出展には、木徳神糧株式会社^{※※}の協力を得て実施致しました。

※※木徳神糧の概要

(1) 会社名: 木徳神糧株式会社

(2) 代表者: 代表取締役社長 鎌田慶彦

(3) 所在地: 東京都千代田区神田小川町 2-8 木徳神糧小川町ビル

(4) 資本金: 5 億 2,950 万円

(5) 業務内容: 米穀、飼料、鶏卵、その他食品等の仕入、加工、販売並びに輸出入

記録写真



①東北・新潟県産米 7 銘柄出品ブース



②初日(5/26)に提供したおにぎり



③初日(5/26)13:00にJETROブースでプレゼンを実施
多数の来場者におにぎりを手にとってもらえた



④大鷹駐タイ日本国大使がブースに来場
(写真向かって左)



⑤岩手県、福島県、新潟県からも
担当者が参加



⑥アンケートに回答する来場者



⑦アンケート回答者にノベルティを配布
(写真は福島県の赤べこ)

以上

【本件に関するお問い合わせ】

(一社) 東北経済連合会 食・観光グループ 横山・五十嵐 TEL:022-397-6415(横山)

東経連のこれまでの地域産品の輸出拡大、促進の取組み等は、以下 URL をご覧ください。

<https://www.tokeiren.or.jp/press-release> (東経連ホームページ)

わきたつ東北戦略会議について

1. 開催趣旨

東北・新潟が直面する共通課題に対し、産学官金トップが認識を共有し、具体的な施策を通して地域が一体となって自立的に課題解決に取り組むことを目指して、東経連が2018年に立ち上げた。

2. メンバー

(官) 青森県知事、岩手県知事、宮城県知事、秋田県知事、山形県知事、福島県知事、新潟県知事

(学) 弘前大学学長、岩手大学学長、東北大学総長、秋田大学学長、山形大学学長、

福島大学学長、新潟大学学長

(金) 株式会社日本政策投資銀行 代表取締役社長

(産) 一般社団法人東北経済連合会会長、副会長

3. 過去開催実績

開催年	開催月日	会議回数	議論テーマ
2018年	5月8日	第1回	東北ハウス、若者の還流・定着、地域産品輸出
	11月1日	第2回	東北ハウス、若者の還流・定着、地域産品輸出
2019年	5月14日	第3回	東北ハウス、若者の還流・定着、地域産品輸出、 広域交通ネットワークストック効果、 地域企業へのAI・IoT導入
	10月30日	第4回	東北ハウス、地域企業へのAI・IoT導入促進
2020年	中止	第5回	(新型コロナウイルス感染拡大により中止)
	10月29日	第6回	ポストコロナ・5つの提言
2021年	4月21日	第7回	兼業・副業人材活用の重要性
	11月16日	第8回	「デュアルライフ東北」の実現に向けた取組
2022年	5月19日	第9回	「デュアルライフ東北」の実現に向けた取組
	11月8日	第10回	農産逸品輸出拡大への取組
2023年	4月24日	第11回	ベンチャー／スタートアップとの連携促進
	11月14日	第12回	農産逸品の輸出拡大への取り組み
2024年	4月16日	第13回	人口減少問題
	11月6日	第14回	人口減少問題
2025年	5月15日	第15回	人口減少問題
	11月6日	第16回	広域リージョン連携
2026年	4月22日	第17回	広域リージョン連携



第17回「わきたつ東北戦略会議」